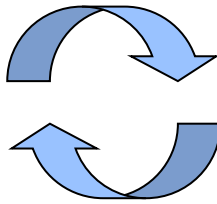


郷土学習『湧別の縄文文化』概要(社会科向け)

湧別町には学術的に有名な縄文文化の遺跡「湧別市川遺跡」があり、縄文文化を学習するには最適な環境です。

また、あまり知られていませんが北海道には弥生文化は存在しません。そのかわり、北海道独自の「擦文文化」や道東特有の「オホーツク文化」と呼ばれる文化があります。湧別にはそれらの文化の代表的な遺跡が存在するため、地元の遺跡を教材として活用することで、郷土の先史時代のくらしを幅広く学習することができます。

縄文文化や先史文化の学習を行うための教材はこの2つ



訪れる遺跡は、北海道指定史跡になっている「シブノツナイ竪穴住居跡」です。竪穴住居跡の数は何と530基！そのほとんどが約1,000年前のもので、竪穴住居の痕跡が窪みのまま残り、現在でも確認できる珍しい遺跡です。

【こんなことをします】

○遺跡とその周辺散策

遺跡散策を通じ、自然環境や住みやすい環境について、現在と過去を比較しながら考えます。

○竪穴住居跡の観察

昔の住居の工夫、竪穴住居が遺跡になるまでの過程、住居は昔の生活のタイムカプセルであることが学習できます。



住居の復元イメージと「さつもん君」

郷土館には遺跡から出土した様々な昔の道具が展示されています。展示資料を観察することで、昔の道具の使い方や優れた工夫を学ぶことができます。湧別の先史文化に触れられるのは郷土館だけです。

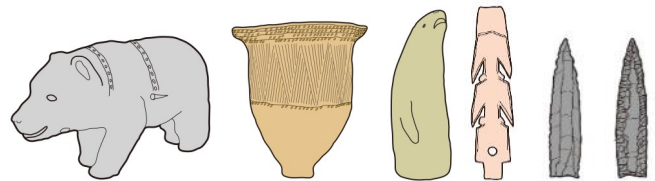
【こんなことをします】

○展示見学

石器・土器・骨角器など、各文化のシンボルを観察します。

○学芸員の実演を見学

- ・石器の切れ味
- ・石器での小麦粉作り
(擦文文化の食「擦文もち」の試食あり。)



展示資料のイラスト

どちらか一方でも構いませんが、フィールドワーク・博物館学習の双方を行うことで先史文化のくらしへの理解が深まります。詳しくは担当学芸員までご相談ください。

【問合せ先】(担当学芸員：林)
湧別町ふるさと館JRY
電話：01586-2-3000
休館日：月曜日、12月30日～1月4日

